



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月30日

上場会社名 日本ガイシ株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 5333 URL http://www.ngk.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 神藤 英明 (TEL) 052-872-7230
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日 配当支払開始予定日 平成25年12月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	141,763	16.5	19,660	73.5	19,592	145.6	12,629	995.2
25年3月期第2四半期	121,665	△0.9	11,330	△28.2	7,977	△45.8	1,153	△89.4

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 27,581百万円(- %) 25年3月期第2四半期 △245百万円(- %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	38.67	38.61
25年3月期第2四半期	3.53	3.53

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	590,201	327,347	53.6
25年3月期	563,030	303,073	52.0

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 316,607百万円 25年3月期 292,672百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
26年3月期	—	10.00			
26年3月期(予想)			—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	290,000	14.7	34,000	64.3	36,000	63.4	25,000	118.9	76.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
新規 — 社（ ）、除外 — 社（ ）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当する変更を行っております。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期2Q	327,560,196株	25年3月期	337,560,196株
26年3月期2Q	996,789株	25年3月期	11,010,888株
26年3月期2Q	326,560,661株	25年3月期2Q	326,512,701株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、金融緩和や経済対策の効果から底堅さが増し、緩やかな回復傾向が続きました。海外では、新興国の成長鈍化や欧州の低迷が継続した一方、米国経済は緩やかな回復基調が続きました。

当社グループにおきましては、セラミックス事業において、自動車関連製品で米国・中国および国内の自動車販売が堅調に推移したこと等から、触媒用セラミックス担体（ハニセラム・大型ハニセラム）等の需要が増加いたしました。エレクトロニクス事業でも、市況回復により半導体製造装置用セラミックス製品の需要が増加いたしました。電力関連事業は、国内需要が低迷したことから低調に推移いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、電力関連事業は微増、セラミックス事業とエレクトロニクス事業は増収となったことから、前年同期比16.5%増の1,417億63百万円となりました。利益面でも、売上高の増加や為替影響により、営業利益は前年同期比73.5%増の196億60百万円、経常利益は同145.6%増の195億92百万円、四半期純利益は同995.2%増の126億29百万円となりました。

セグメント別には、電力関連事業では売上高は前年同期比0.1%増の267億95百万円、営業損益は8億45百万円の営業損失（前年同期は42億75百万円の営業損失）、セラミックス事業では売上高は同27.5%増の873億89百万円、営業利益は同35.8%増の193億77百万円、エレクトロニクス事業では売上高は同4.8%増の277億27百万円、営業利益は同17.5%減の11億1百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産合計は5,902億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ271億70百万円増加いたしました。これは受取手形及び売掛金が減少した一方で、有価証券や投資有価証券、有形固定資産が増加したこと等によるものであります。

負債合計は2,628億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ28億97百万円増加いたしました。これはN A S電池安全対策引当金や支払手形及び買掛金が減少した一方で、長期借入金および短期借入金が増加したこと等によるものであります。

また、純資産合計は、為替換算調整勘定やその他有価証券評価差額金、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ242億73百万円増加し3,273億47百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、前回予想との比較において、電力関連事業では、がいしで国内電力会社の設備投資抑制が継続するほか、一部海外案件が翌期に繰り越されることから減収となる見通しです。セラミックス事業では、自動車関連製品で米国・中国および国内市場の自動車関連製品需要がこれまで堅調に推移したこと増収となる見通しです。エレクトロニクス事業では、市況回復により半導体製造装置用セラミックス製品が増収となる見通しで、全社合計でも前回予想を上回る見通しです。

利益面でも、増収や為替影響により、営業利益、経常利益、当期純利益いずれも前回予想を上回る見通しです。

なお、連結業績予想の前提となる10月以降の為替レートは1米ドル＝95円、1ユーロ＝125円としております。

(期中平均為替レート：1米ドル＝97円、1ユーロ＝127円)

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。

平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	280,000	28,000	29,000	22,000	67.37
今回修正予想 (B)	290,000	34,000	36,000	25,000	76.56
増減額 (B－A)	10,000	6,000	7,000	3,000	—
増減率 (%)	3.6%	21.4%	24.1%	13.6%	—
(ご参考) 前期実績 (平成25年3月期)	252,789	20,695	22,029	11,422	34.98

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

従来、有形固定資産の減価償却の方法について、海外連結子会社では定額法、当社及び国内連結子会社では、建物（建物付属設備を除く）は定額法、その他の有形固定資産は定率法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より、当社及び国内連結子会社の有形固定資産の減価償却の方法についても定額法に変更しております。

当社グループにおいては、グローバルな最適生産体制の構築を中長期的な経営戦略として掲げ、積極的に海外子会社の設備投資を実施したことを契機に、国内の有形固定資産の使用状況を調査した結果、使用期間を通じた安定的な稼働が見込まれることから、統一した会計処理方法のもと、経営実態をより適切に反映するために、当社及び国内連結子会社の有形固定資産の減価償却の方法を定額法に変更いたしました。

この結果、従来の方法によった場合と比べ、当第2四半期連結累計期間の減価償却費は1,488百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1,159百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	39,542	40,201
受取手形及び売掛金	59,062	55,425
有価証券	81,735	93,652
たな卸資産	95,944	98,375
その他	27,393	25,228
貸倒引当金	△109	△105
流動資産合計	303,568	312,778
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	52,464	52,274
機械装置及び運搬具(純額)	64,189	70,097
その他(純額)	47,231	52,516
有形固定資産合計	163,884	174,888
無形固定資産	5,390	5,223
投資その他の資産		
投資有価証券	66,124	72,432
その他	24,284	25,097
貸倒引当金	△223	△219
投資その他の資産合計	90,186	97,310
固定資産合計	259,462	277,422
資産合計	563,030	590,201
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,268	23,215
短期借入金	5,107	7,861
未払法人税等	1,461	2,117
N A S 電池安全対策引当金	21,018	13,663
その他の引当金	1,698	1,547
その他	31,791	27,620
流動負債合計	86,346	76,025
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	130,709	140,977
退職給付引当金	16,166	16,539
製品保証引当金	358	340
その他	6,375	8,971
固定負債合計	173,610	186,828
負債合計	259,957	262,854

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	69,849	69,849
資本剰余金	85,135	72,070
利益剰余金	167,219	176,583
自己株式	△14,362	△1,283
株主資本合計	307,842	317,220
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,964	13,332
繰延ヘッジ損益	22	20
為替換算調整勘定	△21,030	△11,754
在外子会社の退職給付債務等調整額	△2,127	△2,210
その他の包括利益累計額合計	△15,170	△612
新株予約権	739	785
少数株主持分	9,661	9,954
純資産合計	303,073	327,347
負債純資産合計	563,030	590,201

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	121,665	141,763
売上原価	83,882	94,901
売上総利益	37,783	46,862
販売費及び一般管理費	26,452	27,202
営業利益	11,330	19,660
営業外収益		
受取利息	417	317
受取配当金	405	565
為替差益	—	357
その他	1,092	1,004
営業外収益合計	1,915	2,245
営業外費用		
支払利息	846	1,023
為替差損	2,112	—
持分法による投資損失	1,144	1,050
N A S電池安全対策引当金繰入額	700	—
その他	465	239
営業外費用合計	5,268	2,313
経常利益	7,977	19,592
特別利益		
固定資産売却益	26	439
投資有価証券売却益	—	335
特別利益合計	26	774
特別損失		
固定資産処分損	105	268
投資有価証券評価損	3,045	—
減損損失	—	1,090
特別損失合計	3,150	1,358
税金等調整前四半期純利益	4,854	19,007
法人税、住民税及び事業税	2,361	3,680
法人税等調整額	1,192	2,490
法人税等合計	3,553	6,171
少数株主損益調整前四半期純利益	1,300	12,836
少数株主利益	147	206
四半期純利益	1,153	12,629

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,300	12,836
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,081	5,380
繰延ヘッジ損益	△5	△1
為替換算調整勘定	468	9,449
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	0
在外子会社の退職給付債務等調整額	72	△83
その他の包括利益合計	△1,546	14,745
四半期包括利益	△245	27,581
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△452	27,187
少数株主に係る四半期包括利益	206	394

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年8月26日開催の取締役会決議に基づき、平成25年9月10日付で、自己株式10,000,000株の消却を実施いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本剰余金及び自己株式がそれぞれ13,060百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が72,070百万円、自己株式が1,283百万円となっております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	電力関連 事業	セラミックス 事業	エレクトロ ニクス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	26,745	68,452	26,467	121,665	—	121,665
セグメント間の内部売上高 又は振替高	16	66	—	82	△82	—
計	26,761	68,519	26,467	121,748	△82	121,665
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	△4,275	14,270	1,335	11,330	—	11,330

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額
	電力関連 事業	セラミックス 事業	エレクトロ ニクス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	26,784	87,253	27,725	141,763	—	141,763
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11	135	2	148	△148	—
計	26,795	87,389	27,727	141,912	△148	141,763
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	△845	19,377	1,101	19,633	26	19,660

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額26百万円は、セグメント間取引の調整であります。

2. 会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」に記載のとおり、当社及び国内連結子会社は、従来、有形固定資産の減価償却の方法については、建物(建物付属設備を除く)以外は定率法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この結果、従来の方法によった場合と比べ、「電力関連事業」でセグメント損失が216百万円減少、「セラミックス事業」でセグメント利益が633百万円増加、「エレクトロニクス事業」でセグメント利益が308百万円増加しております。